

あなたも読みください  
 真実つたえ希望はこぼ  
 しんぶん **赤旗**  
 日刊 1カ月 3400円  
 日曜版1カ月 800円

# 手良民報

気軽にお気は  
 相談は78-0943  
 生活電話  
 毎月赤旗読者に配達  
 民報のみは月100円)  
 発行  
 日本共産党・手良支部

## ハウス倒壊47棟

手良地区の大震災

2月の2週にわたる大雪によって手良地区でもJA手良支所の調査によるとパイプハウスの倒壊は47棟で該当者は26人になります。その他にビニールの切断のみは4棟ありました。

JA各支所で調査したものを市の農政課がまとめますが、それによりますと伊那市全体では311棟(該当者47名)、被害総額は3月7日現在で2億3千万円以上になります。

飯島議員は今回の被害は甚大であり、被災農家に与える打撃は大きいとして、伊那市に被災者が早急に立ち直ることができるよう万全の措置を講ずることなどを質問しました。

### よしひろ通信 ①

はじめまして、日本共産党の市議員予定候補として手良地域の皆さんにお世話になる事になりました。大場美広です。

そのついで、市会議員の柳川広美さんからこの「通信」欄を引き継ぐことになりました。どうぞよろしくお願いたします。

もうお気づきでしょうが、柳川さんの「広美(ひろみ)」と言ってお名前と、わたしの「美広」「よしひろ」と読むのですが、偶然にも漢字がひっくり返しなんです。これも何かのご縁でしょう。

これもお気づきでしょうが、もうお気づきでしょうが、柳川さんの「広美(ひろみ)」と言ってお名前と、わたしの「美広」「よしひろ」と読むのですが、偶然にも漢字がひっくり返しなんです。これも何かのご縁でしょう。

那市政に届け、伊那市を住みやすい街にして行く為に全力で頑張ります。どんなことでも結構ですから、皆さんの声をお寄せいただき、どうか応援して下さい。

さて、私、大場美広は、1953(昭和28)年、松本市生まれ、現在ちょうど60歳です。松本から妻と5人の子どもを連れて、妻の実家である高遠町勝間に暮らし始めて20年目になります。愛知県の豊田工業高等専門学校を卒業後、東京の都市計画コンサルタントに4年間勤めました。

一級建築士の資格を取得してから建築設計事務所などの勤務を経験しました。



現在、自宅で建築設計事務所を開設しています。主に、住宅や宅幼老所などの福祉施設設計、木造住宅の耐震診断や補強の仕事をしています。

子どもが多いこと、妻が教員の仕事を続けてきたこと、保育園やPTAなど、ずっと役員をしてきました。

上伊那PTA連合会の会長もお引き受けし、現在も「つくしんぼ保育園」の理事を務めさせていただいております。

子育てや、教育の事についてもお役に立てることがあります。遠慮なく申しつけて下さい。

日本共産党  
 安心・安全まっすぐ責任者  
 大場よしひろ

日本共産党の大場よしひろ「安心・安全まっすぐ」責任者は手良地区の実情を知るため3月3日、安心・安全の街づくりの立場から交通安全のためのカーブミラー、横断歩道、道路の補修箇所など手良地区全域を見て回りました。

また、学童保育所の関係者、大雪によるパイプハウス倒壊の被害者からも実情を聞きま



大場よしひろ駆ける

## 横断歩道完成

総合グランド入口付近

地元から強い要望のあった手良総合グランド入口付近の農免道路の横断歩道が交通安全協会を始め地区の関係者のみなさんのご努力によりこのほど完成しました。

また西側の歩道部分なども整備されました。

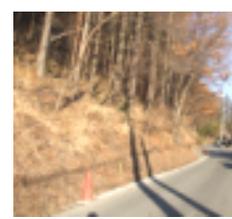


完成した横断歩道

## 野底手良線へグレーチング設置

手良と野底の両区長の連名で要望が出されていた市道野底手良線への甲蓋設置が雪が降る前の12月に完成しました。

市道野底手良線の野底の



グレーチング設置

一部についてその前後に比較して幅員が狭い部分があり、大型車との擦れ違いに苦勞したり、特に冬期間において側溝に車を落としてしまふことがあるというところで要望になったものです。

手良区民にとっても主要な生活路線ということでも手良区長会長も名前を付けています。

工事は30m区間の側溝に市より約30万円のグレーチング30枚が現物支給で提供され、地元役員と市の職員で施工しました。

側溝には沿線の落ち葉の堆積が多く、維持管理上取り外しの可能な構造をという要望でしたが、盗難の恐れがあり処々をクリップ止めにしてあります。

## 「手良地区運動講座」行われる

去る3月4日午後、高遠総合支所保健福祉課主催の手良公民館共催の「手良地区運動講座」が手良公民館で開催されました。

当日は手良地区保健委員会・保健委員会OB会のメンバーやその他多くの区民が参加しました。

講師は手良にあるサンブレイフィットネスセンター代表で、市高齢福祉課の「痛みの予防教室」講師

等でもある池上健先生でした。

出席者は60代あたりを中心に中高年齢層が殆んどだったようです。

それぞれ簡単な自己紹介で、現在の痛みの有無などをとどころに入れ、最終的には全員の状態を掌握した上での指導でしたので、無理なく誰にでも出来るストレッチ、筋肉トレーニングを学べました。

毎日の生活の中に少しでも取り入れた生活をしたいたいと思われました。

伊那市も平成25年に「景観行政団体」となり伊那市景観計画が決つて、今年の4月から伊那市景観条例が施行される。市内各所で「伊那市景観計画」の説明会が行われ、手良でも伊那市のトップを切つて行われたが、まだ関心があまり高くないのか参加者は多くなかった。

先人から受け継いだ、かけがいのない市民共通の財産である良好な景観を守り育てていくことは大切なことであり、市民一人ひとりが自覚していかなければならない。農業政策からも来ているが荒廃した耕作放棄地やマツクイムシの被害による風景は素晴らしい景観とは両立しない。説明会にも意見が出されたが行政は良好な景観を守る方向で進めていくことであつた。

また景観に与える影響が大きい一定規模以上の建築物の建築や工作物の建設等は届出が必要になる。適正な届出を行わなかったり、変更命令に従わなかった場合は罰金や懲役等の罰則があるので注意。しかし今のところその例はないようである。ともあれ素晴らしい景観に恵まれた手良に住む者としては良好な景観は守つていかなければと強く感じるところである。

(T)

戦争体験記

思い出の記

竹内敏勝(ハツ手)

昭和18年1月10日東部第六七部隊(新潟県高田市)に入営する

2月5日北支派遣第一九四部隊に所属 初年兵教育また暗号の特殊教育を受け19年1月1日陣兵団指令部(北京)暗号班に転属、以後は通信の暗号電文の組立て解読を務めとする。

昭和20年6月11日奉天に集結となり8月18日敗戦によりソ連軍の指揮下に入る。

20年9月11日中央アジアアルマトイ地区の第三四八収容所に収容され近く

生活雑記

120

「うちんちん」

朝ドラ「うちんちん」

が始まる時間を楽しみしながらの半年が過ぎた。

め似子の生き方を通じて戦争の悲惨な出来事が本当に詳しく描かれていて、毎日テレビの前に座る時にはティッシュボックスを横に置いておくほど涙を流した。

食糧難 大家族 空爆、子供を「赤紙」一枚で戦

に在った鉛の鉱山の作業に使用される。鉱内には現地人は鉱石の発破を夜間やるのみにてあとは鉱石を外部に出すまで我々が全部やりました。鉛の含有量が60%以上だったので普通の石よりもはるかに重く体力の関係もあって大変な作業でした。

22年10月11日の朝、急に貨物列車に乗るようになるとの指示があり身ひとつで貨車に乗ったところそのまま発車して18日にナホト力に到着しましたが、その時岸壁に大きな船が着いて居たのでこれで帰れるのかと喜び居ましたが我々は次の船で帰るからと聞いてたときは血の気がさがってゆくのを感じました。幸い次の船は二便のことでした

場に送り出す心の葛藤、あの厳しい世相の最中に夫を満州に送り出す朝の別れ、もう涙が滝のように流れた。

そこに映し出される場面は、その時代を生き抜いてきた母親の人生と重ね合わせてその奥に広がる限らない苦痛とやり場のない怒りがひしひしと迫ってくる日々が続いた。

戦争の愚かさがかつていても自由に話すことも出来ない、恐ろしい戦争体験をした世代の人間にとって、此のドラマは

のでホットした思いでした。出航待ちの時、夢にも思わなかった事は真白な白衣を着た看護婦さん達の手で

した。白衣の姿で一人一人の具合を問診してくれ、また慰労の言葉をかけてくれました。その事は鉱内の作業また収容所に帰っても寝るだけの生活に心身共に疲労していた者にとっては天使に巡り会えた思いでした。

後方部隊の所属が多く前線での思い出は余り有りませんでしたが、それでも当時から事を思えば92歳の今迄よく生きて来たなあ

の思いが強くあります。これからは一日一日を大切に心暖かく過ごして行きたいと思っているところです。

過去の教訓が生々しくよみがえり、良くここまで本當の出来事を伝えてくれたなあと感動したり、いままでの戦争ドラマとは違った角度から母親、姉、妻の悲痛な叫びに余計きつつけられた。

長男に召集令状が来た時の心の苦悩、やり場のない気持と母親の心の葛藤は苦しすぎて目をそらすにはいられた。

無言館を訪ねた時の事を思い出した。一番楽しいはずの青春を、そして一度しかない人生を、戦

伊那市の地名調査

地名はその土地と結びついた人々の生活の中から生まれ、そこにはその土地に生きた人々の心と姿、生きる知恵が含まれ、郷土を愛する心の象徴にもなってきたとして伊那市では平成25年より「地名調査」を行ってきました。

26年度は富県、美

手良では各公民館分館に「調査グループ」を作って地名調査を行います。

中坪では3月22日に12名が参加して第1回地名(古地名)調査会を行いました。

3つのグループに別れて調査することを決め役員を選出して発足しました。

26年度は手良も

争のために優れた才能も希望も奪われて、死を覚悟のレールに乗せられ強制的に戦場へ駆り出されてしまった若者の貴重な記録のドラマを見る思いだった。

平和が危ない今こそ戦争の悲惨な出来事を正しく伝えて行かなければと

しみじみ思っています。

無言館を訪ねた時の事を思い出した。一番楽しいはずの青春を、そして一度しかない人生を、戦

確定申告相談会

民商手良支部

上伊那民主商工会手良支部では、2月25日に手良公民館で年度末の確定申告期を控えて確定申告について相談会を行い6名が参加しました。各自申告用紙に記入したものを照合し相談しました。

参加者は「確定申告も一人では何かと不安であるが申告の仕方について勉強できみんなに相談できるので安心だ」などと話していました。

上伊那民商では「融資・資金繰り、税金・確定申告など商売のことで困ったことがあれば、一人で悩まずに、気軽に相談に来てください」と呼びかけています。

(電話)72-0550

伊那市は、良好な景観づくりを目指して独自の取り組みを行うため「景観行政団体」になりました。

平成26年4月1日から、伊那市景観条例に基づき、伊那市全域において、

伊那市は、良好な景観づくりを目指して独自の取り組みを行うため「景観行政団体」になりました。

平成26年4月1日から、伊那市景観条例に基づき、伊那市全域において、

伊那市は、良好な景観づくりを目指して独自の取り組みを行うため「景観行政団体」になりました。

平成26年4月1日から、伊那市景観条例に基づき、伊那市全域において、

伊那市は、良好な景観づくりを目指して独自の取り組みを行うため「景観行政団体」になりました。

平成26年4月1日から、伊那市景観条例に基づき、伊那市全域において、

中坪公民館で給手紙教室やっています



小松 栄子

連絡先 高橋 7810943

清水寺の本堂下の段へ

中坪の清水寺は3月8日の壇信徒の総会で本堂を現在の位置から下の段に建設することになりました。今後手良の景色が大きく変わるものと思われず、清水寺の本堂は明治35(1902)年に、当時空き家になっていた民家を移築して建てられ、以後110年近く経っています。

その後何回か部分的な修復を図って来ていますが、建物の傷みが激しく、平成21年に研究委員会を発足して研究をかさね、平成23年の総会で建設を決めました。

建設委員会を立ち上げ検討する中で、現在の場所は「土砂災害警戒区域」に該当し建築物を建築する場合は特別な構造にしなければならないこと、また工事用の取り付け道路のこともあり工事費の増大が懸念されていました。

この地を離れた壇信徒の方より本堂建設に使ったらと下の段の土地の寄進があり総会への提案になったものです。

場所は下の段の郷之坪「キタノヤ電器」の上の段の場所になります。

(おねがい) 身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。

七八〇九四三 高橋

柏(かしわ)の木枯れた葉っぱががみつきからからと鳴る寒の風に

ガダルカナル「餓鳥」とも言ふこの島で叔父は飢えて戦死をしたり

チェンソーの音響きたり春の山芽吹きの前静寂(しじま)破りて

雪冠の西の山脈(やまなみ)日の出前幸福ふくと紅く染まりぬ